



DOCOMO TEAM DANDELION RACING Team Release

決勝レポート

2012/7/15 Rd-4 富士スピードウェイ

天候：曇り時々雨 気温：27℃ 出走台数：18台

観客数：14日（土）9,500人 15日（日）17,700人

決勝を迎えた第4戦富士スピードウェイ、日中の天気予報は曇りだが、幾度となく雨が空からこぼれ、路面はドライからウェット、そしてまたドライと目まぐるしく変わる、難しいコンディション。

スタートは小雨がぱらつく状況、伊沢選手、塚越選手を含むほとんどの車両はドライタイヤでスタートを選択。濡れた路面のスタートで、塚越選手はややホイールスピンが多く、また1コーナーでの位置取りも悪く、3つポジションを落とし6番手。伊沢選手は上手く決めて4つポジションアップの14番手でオープニングを迎えた。

伊沢選手は周回ごとにオーバーテイクを見せレース序盤で8番手まで順位を上げる。

レース中盤 雨が強くなり、路面はウェットコンディションへ、塚越選手はここでウェットタイヤに交換する戦略をとった。

伊沢選手はスリックタイヤのままコースに残る上位陣を追うべく、スリックタイヤのまま我慢とテクニックのドライブ。その後 雨は細くなり、ギリギリまで粘った伊沢選手は、41周目にピットイン、タイヤ無交換で給油のみ行ってコースへ戻った。

塚越選手は、ウェット状態でスピードを積み上げ5位まで浮上。しかし路面はどんどん乾いてゆき、スリックタイヤ車両に追われる展開へ。

対してスリックを選択した伊沢選手は、スピードの鈍ったウェットタイヤ車両を次々とパスすべく渾身の走りを見せるが、50周目に痛恨の単独スピン。大きく順位を落としてしまう。結果、塚越選手9位、伊沢選手13位で、レースを終えた。

40：伊沢選手 13位

予選、決勝通して、車の状況はとてもよかったですのですが、自身のミスでせっかくの好調を台無しにしてしまい、悔いの残るレースとなってしまいました。

結果をよく検証するとともに、気持ちを切り替えて前進する力が我々にはありますから、次戦茂木で戦列に帰ります。

41：塚越選手 9位

難しい状況の中、天候を読み切れず、そんな中でもベストを尽くしましたが、結果に結び付けられなかったのが悔しいです。

次戦は地元茂木です。たくさんの応援団も来てくれます。

戦略を再考し前進を続け、早くポイントリーダーに戻りたいです。